



利用者数、収支率も高水準
三ツ石地区乗合タクシー
(平成21年10月5日開始)

三ツ石地区と市役所・ゆめタウン
おたけ間を運行する乗合タクシー
です。支線交通としては最も早く運
行を開始しました。

利用者数は平成29年度と比べて
112人増加し、近年は増加傾向に
あります。1台あたりの利用者数や
収支率も、他の支線交通と比べて高
い水準を維持しています。

平成30年度は増加
ひまわりタクシー
(平成23年7月1日開始)

玖波7・8丁目と玖波駅・広島西
医療センター間を運行する乗合タク
シーです。

利用者数は、近年、減少する傾向
にありましたが、平成30年度は87人
の増加に転じました。

1台あたりの利用者数と収支率は、
平成29年度と同水準となっています。



支線交通
平成30年度の運営状況
問い合わせ 自治振興課 ☎2142



過去最高の利用者数
湯舟のりあいタクシー
(平成24年1月23日開始)

湯舟地区とゆめタウンおたけ・
広島西医療センター間を運行する乗
合タクシーです。

平成30年度の利用者数は736人
となり、過去最高を記録しました。
1台あたりの利用者数と収支率も平
成29年度から増加しています。
平成29年6月に本格運行へ移行し、
地域の交通手段として定着してきて
います。

乗合タクシーなどの支線交通は、幹線バス
(こいこいバス)と組み合わせ、効果的で
効率的な運行を行っています。
今回は、運行している支線交通(5路線)
の平成30年度の運営状況をお知らせします。

▲昨年7月3日に運行開始した「あじさいタク
シー」の発売式。御園台とゆめタウン大竹を往
復する。

北地区・南地区で運行
栄ぐるりんタクシー
(平成30年3月1日開始)

栄町地区と指定の目的地間を運行
する乗合タクシーです。栄町地区は
エリアが広いいため、北地区と南地区
に分けて運行しています。

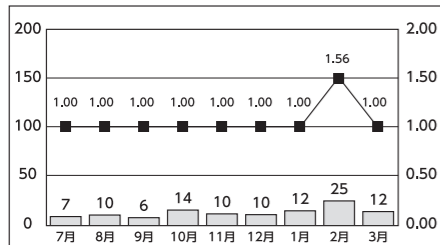
運営状況の表内の平成29年度の数
値は、平成30年3月の1カ月分のた
め、低い数値となっています。

昨年7月から運行
あじさいタクシー
(平成30年7月3日開始)

御園台地区とゆめタウンおたけ
間を運行する乗合タクシーです。
運営状況の表内の平成30年度の数
値は、平成30年7月からの9カ月分
となっています。

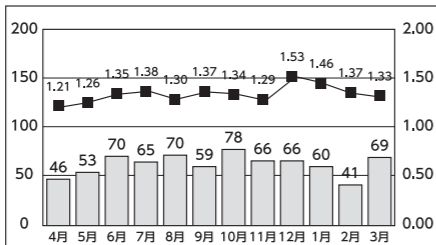


■あじさいタクシー



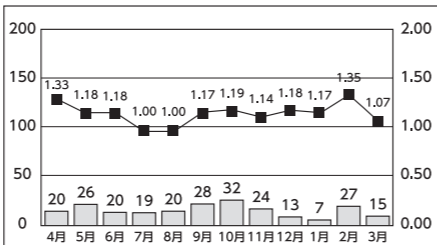
項目	平成30年度
利用者数	106人
運行台数	97台
1台平均	1.09人
運行経費	104,760円
運賃収入	24,085円
収支率	23.0%
運行損益	▲80,675円

■栄ぐるりんタクシー (南)



項目	平成29年度	平成30年度
利用者数	67人	743人
運行台数	39台	551台
1台平均	1.72人	1.35人
運行経費	46,800円	661,200円
運賃収入	16,750円	185,750円
収支率	35.8%	28.1%
運行損益	▲30,050円	▲475,450円

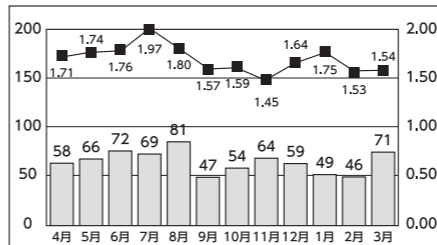
■栄ぐるりんタクシー (北)



項目	平成29年度	平成30年度
利用者数	13人	251人
運行台数	11台	216台
1台平均	1.18人	1.16人
運行経費	13,200円	259,200円
運賃収入	3,250円	62,750円
収支率	24.6%	24.2%
運行損益	▲9,950円	▲196,450円

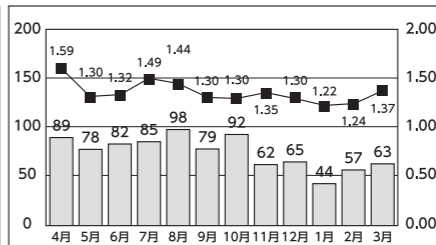
平成30年度月別利用者数の推移 (利用者数(人) / 1台平均(人/台))

■湯舟のりあいタクシー



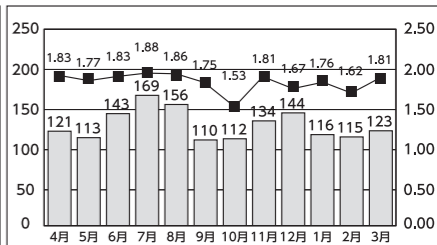
項目	平成29年度	平成30年度
利用者数	621人	736人
運行台数	413台	441台
1台平均	1.50人	1.67人
運行経費	446,040円	476,280円
運賃収入	141,132円	167,267円
収支率	31.6%	35.1%
運行損益	▲304,908円	▲309,013円

■ひまわりタクシー



項目	平成29年度	平成30年度
利用者数	807人	894人
運行台数	580台	659台
1台平均	1.39人	1.36人
運行経費	620,100円	669,420円
運賃収入	167,942円	187,489円
収支率	27.1%	28.0%
運行損益	▲452,158円	▲481,931円

■三ツ石地区乗合タクシー



項目	平成29年度	平成30年度
利用者数	1,444人	1,556人
運行台数	793台	883台
1台平均	1.82人	1.76人
運行経費	856,440円	953,640円
運賃収入	328,177円	353,632円
収支率	38.3%	37.1%
運行損益	▲528,263円	▲600,008円

台風・荒天

そんなときは バスの運行ルートが変わります

問い合わせ 自治振興課 ☎2142

高潮警報発令中 通行止

市内を運行するバスには、こいこいバス、大竹・栗谷線バス、坂上線バスがあります。
台風などの荒天時、事故や災害時などには運休や折り返し運行などを行うことがありますので、ご注意ください。

高潮のときは 迂回ルートに

こいこいバス
台風などにより高潮の恐れがあるときは小方港付近の市道にある防潮扉が閉まり、運行ルートの一部が通行止めになります。「飛石港」には停車しません。

大雨のときは 折り返し運行に

大竹・栗谷線バス
降雨量が基準を超えたときは県道栗谷大野線の一部が通行止めになるため、「渡の瀬」から「西医療センター」または「大竹駅」間を折り返し運行します。

坂上線バス
降雨量が基準を超えたときは国道186号の一部が通行止めになるため、「深瀬」から「大竹駅」間を折り返し運行します。

変更は防災行政無線などで お知らせします

降雨量が基準を超えた場合の通行止め解除は、雨が上がり、道路管理者(県)がパトロールにより通行の安全を確認した後にあります。
運行内容が変わるときには、防災行政無線や市ホームページなどで情報提供に努めます。ご不明な点などは、自治振興課または運行業者へお問い合わせください。

問い合わせ【運行業者】

- 大竹・栗谷線バス (大竹交通 ☎5141)
- 坂上線バス (大竹交通 ☎5141)
- こいこいバス (大竹タクシー ☎3131)
- 大竹交通・大竹タクシー